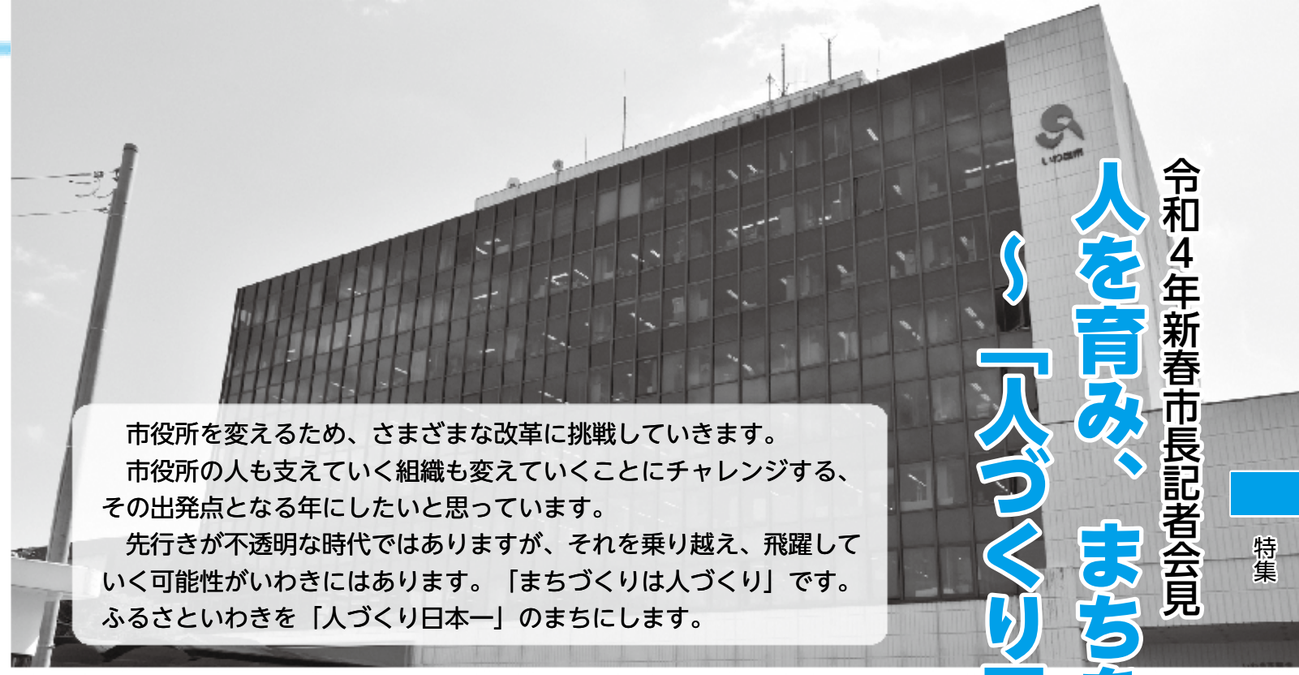
特集

令和４年新春市長記者会見
人を育み、まちを育む～「人づくり日本一」を目指して～

令和四年新春市長記者会見を一月五日に、市役所で行いました。内田市長は、年頭所感として、市役所の改革や政策の基本的な考え方などについて明らかにしました。

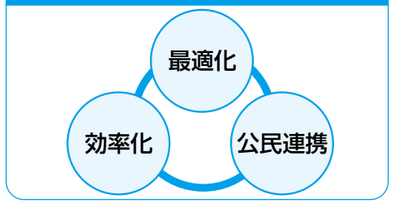


市役所を変えるため、さまざまな改革に挑戦していきます。
市役所の人も支えていく組織も変えていくことにチャレンジする、その出発点となる年にしたいと思っています。
先行きが不透明な時代ではありますが、それを乗り越え、飛躍していく可能性がいわきにはあります。「まちづくりは人づくり」です。ふるさといわきを「人づくり日本一」のまちにします。

市役所が変わります！

柔軟で持続可能な行財政運営を確立します！

改革の３つの視点



構造改革推進本部

※検討事項の一例

行政改革
- 行政サービスのあり方の整理
- 定型業務の集中管理
- 広報機能の強化
- ＰＰＰ・ＰＦＩの積極導入

人事改革
- 人事評価の見直し
- ＡＩ人事の導入
- 多様な人材の活用
- 副業・兼業の見直し
- 働き方の見直し

財政改革
- 財政状況の分析・見える化
- 受益者負担の見直し
- 聖域なき歳入確保・歳出削減の実行

※ＰＰＰ…行政と民間が連携し、行政サービスの効率化などを図ろうとする概念
※ＰＦＩ…民間資金活用による社会資本整備

近年、自然災害やウイルス感染症といった危機事象が頻発しています。また、課題である人口減少や少子高齢化、若者の流出にも歯止めがかかりません。

このような中で、市民の皆さんの暮らしの安全・安心の確保や地域経済の維持・活性化、子育て・教育の推進などは着実に進めていくことが求められます。

これらの諸課題にしっかりと対応しながら、三つの視点から構造改革を進め、柔軟で持続可能な行財政運営を確立します。具体的には、新年度に構造改革推進本部を設置し、改革のテーマに行政改革・人事改革・財政改革の三項目を据えて、令和六年度までの三カ年を集中改革期間とし、期間内に結果を出していきます。

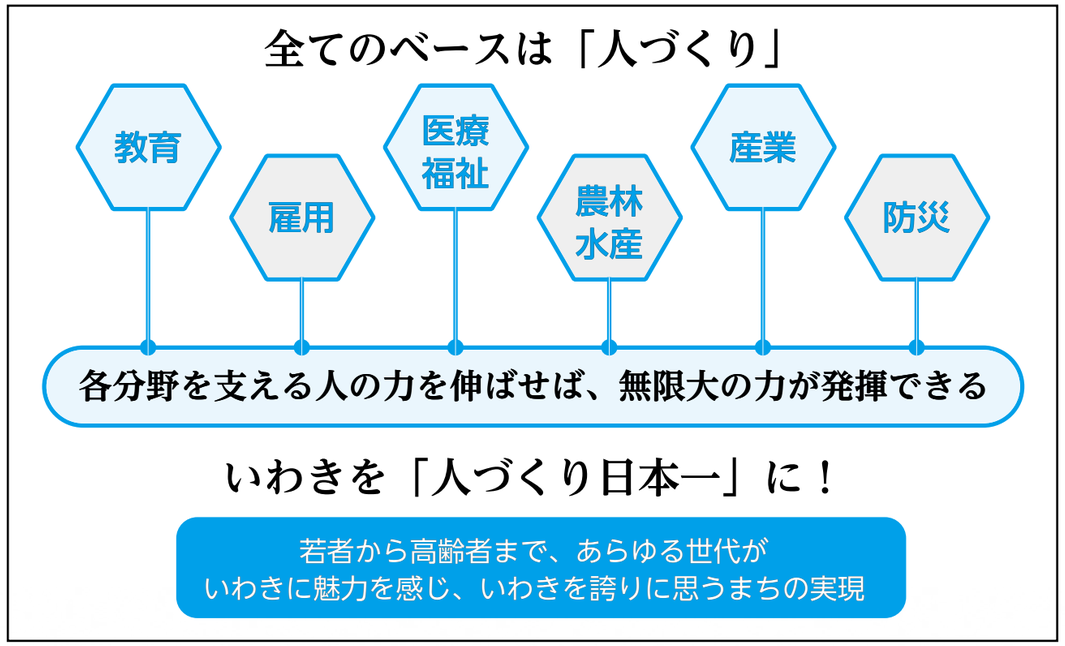
確かな未来をつかみ取るためにも、行財政運営を、そして市役所を変えていきます。

特集

政策の基本的な考え方

全ての分野においてベースとなるのが「人づくり」だと考えています。予算には限りがありますが、人の可能性に限界はありません。危機事象への対応をはじめ、教育、雇用、医療、福祉、農林水産業など、各分野を支える人の力を伸ばせば、無限大の力が発揮できると信じています。

若者から高齢者まで、あらゆる世代がいわきに魅力を感じ、いわきを誇りに思う、そんなまちを「人づくり」で実現します。



喫緊の課題への対応

新型コロナウイルス感染症への対応としては、これまでも「ゆるやかなアクセル」と「確かなブレーキ」の両輪で感染症対策を進めてきました。

現在、新たな変異株も世界中にまん延しつつあります。引き続き、気を緩めることなく、万全の対策を講じながら、コロナ禍を乗り越え、アフターコロナを見据え、インバウンドも含めた交流人口の拡大や地域の活性化も積極的に推進していきます。

中長期の課題への対応

1．まちの魅力を高めます！

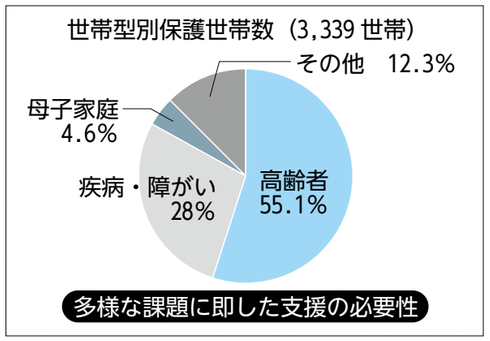
○教育環境の充実
・学力向上チームの創設
・特別支援教育の充実
○雇用確保・若者の流出抑制
・国際教育研究拠点との連携
○スポーツ・文化を軸に地域の魅力を創出
・いわきＦＣがＪリーグ昇格
・いわきグリーンフィールドの改修を検討
・ナショナルサイクルルートの指定

2．命を守ります！

○防災・減災に注力
・自主防災組織・防災士の充実強化
・避難体制・相互支援体制の構築
・子どもたちへの防災教育

3．暮らしを守ります！

○複合的・包括的な福祉サービス
・ワンストップ相談
○「いわきネウボラ」の深化
・児童の見守りを強化
・不妊・不育に関する相談体制の充実
○子育て世帯の負担軽減
・インフルエンザ予防接種費用を助成

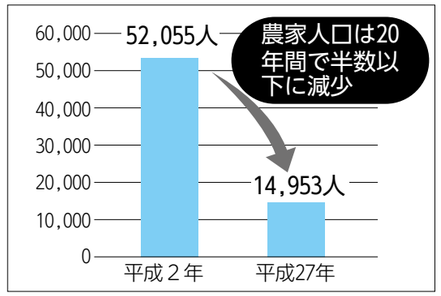


○医師不足への対応
・数値目標を立て、計画的・長期的に医師確保に取り組む
・医療人材の育成
・市民の皆さんの健康づくりを促進

令和４年新春市長記者会見

4．地域を元気にします！

○第１次産業の振興
・担い手の確保・育成
・福島大学食農学類との連携
・持続可能な中山間地域の振興



○市街地の再生整備
・常磐・四倉地区の基本計画策定

5．未来を先取りします！

○グリーン（脱炭素）社会の構築
・太陽光・風力・水素、バッテリーなど次世代エネルギーの利活用を推進
・カーボンニュートラルポート（＊１）の形成に向けた検討
・ゼロカーボンドライブセット（＊２）を促進
・風力発電人材育成の認証システムを構築

○Society5.0の推進
・新技術で子どもの見守りや健康相談を実施
・次世代交通システム（ＭａａＳ、カーシェア）を官民連携で構築
・「お出かけ市役所」を推進
・行政デジタル・トランスフォーメーション（＊３）を推進し、行政サービスを向上

◆用語解説◆
＊１　カーボンニュートラルポート　港湾機能の高度化などを通じて2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする取り組みを実施する港
＊２　ゼロカーボンドライブセット　太陽光発電と電気自動車などを組み合わせた新たな取り組み
＊３　デジタル・トランスフォーメーション　デジタル技術などの浸透が、人々の生活をあらゆる面で良い方向に変革していく概念

◆写真解説◆
①昨年、Ｊリーグ昇格が決定したいわきＦＣ　②自主防災組織を中心に実施した市総合防災訓練　③震災メモリアル事業中間拠点施設として、校外学習などの防災教育が実施されているいわき震災伝承みらい館　④本市の地域医療を支える拠点であるいわき市医療センター

令和４年新春市民交歓会を開催

新春市民交歓会を１月５日、パレスいわやで開催し、市民の皆さんや市内の事業所の方々など約350人が参加しました。

２年ぶりの開催となった同交歓会では、鏡開きやいわきＦＣの優勝報告後に、出席者同士の名刺交換や懇談などが行われました。

参加した皆さんは、本年のお互いの健勝とさらなる飛躍を誓い合っていました。

お互いの健勝を祈って鏡開き

市ものづくりアワードを授与

同賞は、国および公共性の高い団体から非常に優秀で高度な表彰を受け、市内の他事業者や市民に勇気と希望を与え「ものづくり都市いわき」を広くアピールした市内事業者や個人に対し、その栄誉をたたえ、さらなる企業経営・地域産業の発展につなげていただくことを目的に表彰するものです。

▷東洋システム株式会社代表取締役庄司秀樹＝常磐西郷町

第７回日本ベンチャー学会松田修一賞を受賞した栄誉をたたえました。

表彰を受けた庄司さん